



大竹彩奈作品集
Ayana Otake Art Works



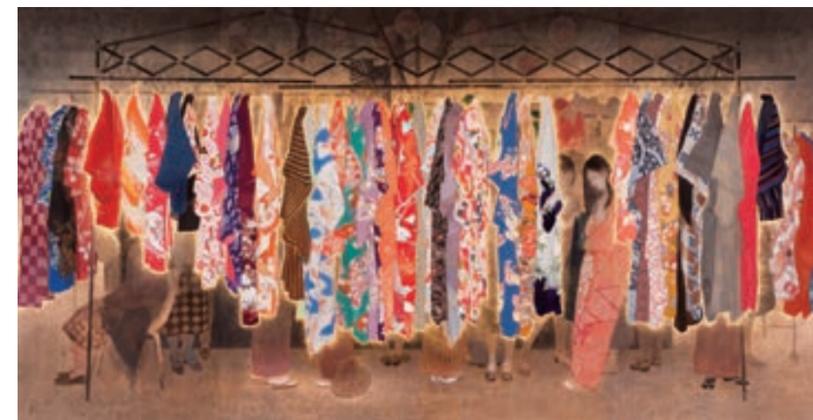
大竹彩奈作品集
Ayana Otake Art Works

着物を身につけた女性は、どこか現実離れしていて夢のようです。
着物がもつ、ある種の荘厳な雰囲気がそう感じさせるのかもしれませんが。
心地よいリズムで繰り返される四季折々の紋様と目の覚めるような配色。
ひとたび纏えば、女性は女性という性を超えて、美しき魔物になるような気がします。

いつか読んだ小説に出てきたひと。
空想の中に佇む、手の届かないひと。

そんな静寂な世界に住んでいる夢の女性を描きたいと思い、制作しています。

大竹 彩奈



「彩りの喧騒」 182×348cm 2011年



「寄る辺」 M20号 2015年



「約束」 P10号 2015年



「満潮」 M8号 2015年



「明け暮れ」 P8号 2015年



「初夏」 M6号 2015年



「甘受」 P6号 2015年



「夜明け」 P6号 2015年



「5月」 P10号 2015年



「移ろい」 M10号 2015年



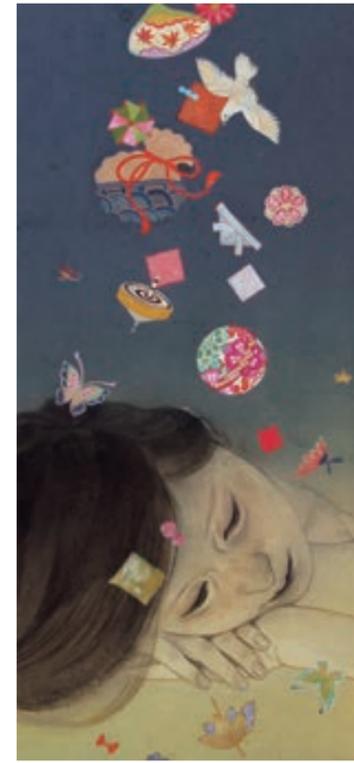
「預流」 M8号 2015年



「いとま」 65×21.7cm(15号変形) 2014年



「告白」 65×21.7cm(15号変形) 2014年



「幸せの夢」 39.6×19cm(4号変形) 2014年



「想い」 M8号 2014年



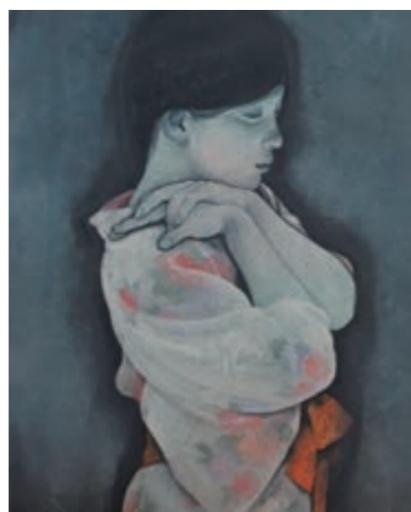
「予感」 F100号 2014年



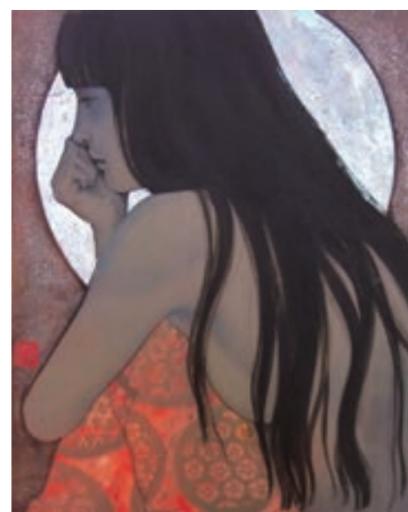
「祭」 157×260cm 2013年



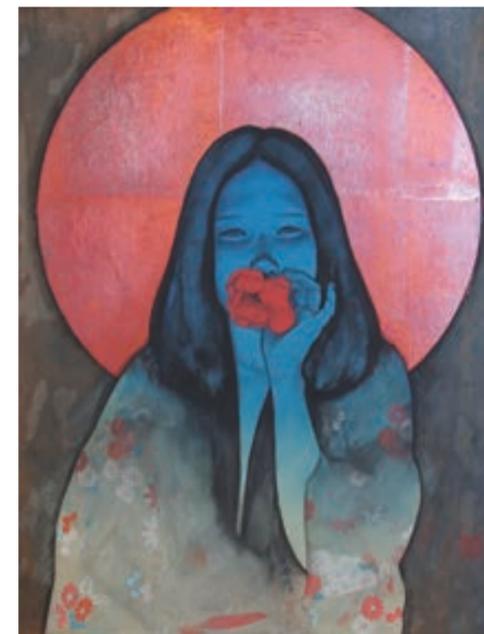
「面影」 F15号 2013年



「想う」 F3号 2013年



「沙月」 F3号 2012年



「たわぶれ」 F6号 2013年



「湧(ボウ)」 20×40cm 2012年



「溢(イツ)」 20×40cm 2012年



「よそい」 F4号 2012年



「赤日」 F15号 2012年



「たゆたう」
M80号
2011年



「西の刻」 181.8×227.3cm 2009年（修了制作 東京藝術大学買い上げ）



「赤光」 181.8×227.3cm 2006年（台東区長賞・サロンドプランタン賞）

大竹 彩奈 プロフィール

1981年 埼玉県に生まれる
2007年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
2009年 東京藝術大学大学院美術研究科(日本画)修士課程修了
2012年 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻 日本画研究領域修了(学位取得)

● 個展

2010年 「大竹彩奈展」 ギャラリーショアウッド(青山)
2013年 「第46回レスポワール新人選抜展／大竹彩奈」 銀座スルガ台画廊(銀座)
2014年 「大竹彩奈展」 銀座ざらりい朋(銀座)

● グループ展

2005年 「青鹿未奈・大竹彩奈日本画展」 green art team (川口)
「EXHIBITION4」 Promo arte Art gallery(青山)
2007年 「素描展」 東京藝術大学大学美術館 陳列館(上野)(以後 '08, '09, '10, '12, '13, '14)
2009年 「新生展」 新生堂ギャラリー(青山)
「紙本の絵画展」 小津和紙博物館 小津ギャラリー(日本橋)(以後'10, '13, '14)
2010年 「流—日本画×韓国画、国境、文化、伝統を越えて—」 柿傳ギャラリー(新宿)(以後'13)
「3国G—Image in dialog—」 TEPCOギャラリー(ソウル)、韓国文化院(新宿)
2012年 「YOUNG ART TAIPEI 2012」 晴山藝術中心画廊(台北)(以後 '15)
「三越×東京芸術大学『夏の芸術祭 2012 -次代を担う若手作家作品展』」 日本橋三越本店(以後 '14)
2013年 「永温三彩—女流作家三人展」 そごう横浜店
「たんざく展」 伊勢丹新宿店(以後 '14)
2014年 「ミニアチュールとガラス絵展」 森田画廊(銀座)(以後 '15)
「納涼妖画展」銀座三越
「俳俵の会—東京芸術大学日本画第二研究室出身者による研究発表展」スルガ台画廊(銀座)
「LIU展 '流' 日本、中国、韓国の絵画—国境、文化、伝統を越えて」日中友好会館(飯田橋)
2015年 「第3回 桜花賞展」 郷さくら美術館(中目黒)
他 多数

● 受賞歴

2005年 安宅賞
2007年 サロンドブランタン賞
台東区長賞
平山郁夫奨学金授与
2009年 修了制作大学買上げ賞
新生展ギャラリーショアウッド賞



大竹 彩奈 作品集

制作・発行 八犬堂
印刷 大日本印刷
©AYANA OTAKE, 2015
